

＜免震技術を用いた耐震改修＞ 国土交通大臣賞・耐震改修優秀建築賞（2020 年度表彰）

案件名	香川県庁舎東館
評定の区分	耐震改修計画の評定
評定番号	BCJ-耐震診断-262 (2017 年 5 月)
所有者	香川県
改修設計者	(建築・構造) 株式会社大林組四国支店一級建築士事務所

建築物概要等

建築物所在地 : 香川県高松市番町
用途 : 庁舎
延べ面積 : 11,871.99 m²
最高部高さ : 43.00m
階数 : (高層棟) 地上 9 階、地下なし、塔屋 3 階
(低層棟) 地上 3 階、地下なし、塔屋なし
構造種別等 : 鉄筋コンクリート造
竣工年 : 1958 年 (昭和 33 年)
建物紹介サイト : <https://www.pref.kagawa.lg.jp/zaisankeiei/higashikan/kfvn.html>

計画の概要等

【耐震改修の目的等】

本建物は、丹下健三計画研究室により設計され、1958 年に建設された代表的な戦後モダニズム建築であり、文化財的価値の高い近現代建築である。現役の県庁舎であり、防災拠点施設（災害応急対策指揮・実行、情報伝達等施設）としての耐震性を満たす必要から構造補強が検討された。

【耐震診断・改修計画評定のポイント】

高層棟と低層棟とは EXP.J で接続されており、高層棟と低層棟を一体化した基礎下免震工法が採用されている。免震層は免震材料をバランスよく配置し、偏心を生じない計画としている。上部構造（既存建物）については、高層棟で柱・梁の増打ち補強を行うとともに、基礎梁は免震層の水平変形に伴う付加応力を負担するための補強を行っている。

平成 12 年建告第 1461 号第四号ロ及びハに規定する時刻歴応答解析により耐震性の確認を行い、目標値を満足していることを確認している。



南西面外観



免震ピット

